

発達・発達の様子 (一人一人の発達、発達は違いますが、この表は一般的なめやすです。お子さんの成長を確認するときなどに活用してください。)

月齢		新生児	2か月	4か月	7か月	10か月	1歳	1歳6か月	2歳	2歳6か月	3歳	4歳～6歳	小学生以上		
各期の特徴		外界に適応するために、各機能を調節する（生まれた日～28日）	一生のうちで一番成長する	昼と夜の区別がつく	自分の欲求で動ける	自由に動いて、家中どこへでも行く	自分でできることが増え、自立していく	歩けるようになる	何でもやりだがるけど、うまくいかずかんしゃくを起こす	自分のことは自分でやりたがり、大人のやっていると挑戦したがる	親から離れて自立していく子ども同士で遊ぶようになってくる	友だちと遊ぶのが楽しい時期 集団のルールを覚える	自己と他者を意識して行動する		
体の育ち	免疫	初乳に含まれる免疫をもらう		<6か月>病原菌と戦い自分で抗体をつくりはじめる（免疫の学習）								<4歳> 抗体をつくる力が大人並み			
	身長（cm）	← 15cm増		→ 10cm増		1.5倍		12cm増	8cm増	3年間で約45cm増		2倍	思春期に成長増		
	体重（kg）	← 2倍 4kg増		→ 2kg増		3倍		2kg増	4倍	2kg増 3年間で約10kg増		6倍			
	消化能力	菌							奥歯が生える	犬歯が生える	乳歯20本生えそう		永久歯生えはじめる	12歳永久歯28本	
		胃（ml）	30～50 胃の形～とっくり型	120 吐きやすい	200		200～250 食べ物をこなす力が強くなって		250～300	300～350		400～450 大人と同じ胃の形になる	<5歳> 650		
		消化酵素	母乳の糖質を分解できる乳糖分解酵素を持っている		<3か月>糖質の消化酵素（唾液）分泌よくなる		たんぱく質、脂肪の消化酵素が多くなる		胆汁の分泌よくなり脂肪が消化しやすくなる				たんぱく質、脂肪の消化酵素大人並み	<4歳> 糖質の消化酵素大人並み	
	排尿	1日の回数と1回の量	<14～30日> 13回 24cc	<1～3か月> 14回 31cc	<3～6か月> 20回 31cc		<6か月～1歳>16回 44cc		<1～2歳>12回 60cc		<2～3歳>10回 88cc		<3～4歳>9回 90cc	<5～6歳>7回 154cc	9～10歳 7回 262cc
		感覚	膀胱に尿がたまると反射的にでる ★早寝早起きの生活リズムで深い睡眠になると、夜尿を作らないホルモンが増える → 夜の尿量が減少してくる		膀胱に尿がたまると尿意を感じ尿意を教える。まだがまんができない。		サインを出したり、排尿を予告する（モソモソ・手や動きが止まるなど）		排尿間隔が2時間程度空いてくる		尿意がわかり、我慢できるようになる		抗利尿ホルモン（尿を作らない）の働きがよくなり、夜の尿量が減る		<4歳6か月> 自分の意志で自由に尿をだす
	排便	1日の回数（回）	2～10		<6か月>2～3		1～2								
		感覚	6か月までは、反射的に排便をする		離乳食開始～便が硬くなる → 反射的にいきむ（顔を赤くする）		腸に便がたまったことを感じるようになるが我慢できない		自分の意志では肛門括約筋を操作できるようになるが、我慢できない		便意を感じても、トイレまで我慢ができる		<4歳6か月> 手を使って上手におしりを拭く		
体の動き	体を動かす神経	赤ちゃんが自分の体が思いどおりに動くには脳（上）から足（下）へ発達する法則がある				歩く・物をつかむ・動作の基礎の神経回路が完成		運動機能の脳の発達ピーク							
	動きと筋肉	顔を左右に動かす	腹ばいにする時と頭を持ち上げようとする	顔を上げ前後左右に動かす	回転、うしろばい	ハイハイ たがばい	つかまり立ち	階段をのぼる	1秒片足で立つ その場でジャンプ	ボールをける	三輪車をこぐ 片足とび	5秒片足で立つ つなわり	<10歳> 運動神経が完成 <12歳> 持久力が完成 <14～16歳> 筋力が完成		
	動きの過程	体を動かす 腹ばいで45度頭を上げる	寝返り	姿勢を保つことができる はいはい	後ずさり歩き	ボールを前に投げる	三輪車をこぐ	でんぐり返し							
	脳の重さ（g）	385	<3か月> 710	<6か月> 833	★栄養・刺激によって神経回路をつくっていく		1117	★音・色・臭・味・温度・体性感覚などの感受性が高まり、確かな行動が増える	1146	1380	<4歳> 1389	<10歳> 大人の重さ			
脳の育ち	生活リズム	授乳以外の時間は眠っている。昼夜を問わず1回3時間ほどの短い眠りを繰り返す	授乳後30分くらい目をさまして眠る。昼と夜のリズムができていない	★栄養・刺激によって神経回路をつくっていく	夜にまとまって眠れるようになってくるが、夜泣きが始まることもある	★精神安定・日中の覚醒作用・やる気を高める・体をつくる・夜尿生成の抑制など		夜間10時間、昼間2時間程度の睡眠リズムがつく		<5～6歳> 自律神経の体内時計のセットが完成	<4歳> 視床下部が働き始める				
	味覚	先天性味覚（母乳の味）甘味、うま味		苦味（野菜）→学習しないとキライになる味				酸味（酢の物）				10歳味覚の完成			
	視覚	光に反応。明るい暗いの区別つく。20～30cm先のものを認識（大人ほど詳細には認識できない）	視力0.02の薄暗い状態無意識に動くものをじっと見る	物体の形がはっきり見える奥行きがわかる<6か月>色彩完成	視力0.05程度	視力0.2程度 形や色の違いを認識できる	視力がアップしてきて色々なものを見たり	視力0.6～1.0		視力1.0 立体視力の完成 6歳～立体視力の完成					
	聴覚	とくに母親の音に反応。<1か月>音のする方向を向く	<3～5か月>家族の声を聞き分け<6か月>音楽に反応する	急速に発達			音の高低を区別し、メロディーを口ずさむ		メロディーの記憶など、大人と変わらないくらい						
	認識	母と視線を合わせることで安心する	反応に対して自分の意志で笑う。意識的に声を出す	うれしい、悲しいという感情を声に出す	記憶ができる＝人見知りが始まる	手差しや声で要求を訴える	意味のあることばを言う		2語文を話す		同年代の子と会話ができる				
発達の過程	ことば	泣く（声を出す）	泣き声以外の声を出す（ア、クーなど）	誰かと話すようなおしゃべり（なん語）	意味なくバババ、ママなどと言う	身近な人が発した発音を真似ようとする	絵本を見て知っているものを指さす	身体部位がわかる（指さし）	大きい、小さいがわかる	ジャンケンや勝ち負けがわかる					
	言葉の理解	おしゃべりのできない赤ちゃんは、表情や動作が大事なサインです！ そのサインも一人一人のお子さんによって違い、機々です。		声や音のする方に振り向く	「ダメ」で手を止める	大人の言う簡単なことばがわかる（「おいで」「ちようだい」など）	興味のあるものや見てほしいものがあると指さしや行動で示す	自由に絵を描き、何を描いたか聞くと答える	約束、依頼、説得がわかり始める	赤、青、黄、緑がわかる					
	行動	やる気を起こさせる脳の活動		自分の要求どおり行動する	泣かずに自分の要求を表現する					まわりの状況で自分の行動を決定していく					
	人との関わり	目が合う	あやされると笑う	人に対して興味を示す	側にもいないと泣く	お母さんを探し求める（後追ひ）	相手の喜んだ顔を見て同じことを繰り返す	物の取り合い（けんか）が多くなる	手伝いをしたがる（役割をもたがる）	順番を守って行動できる					